

第31回紀元節復活反対

2・11 道民集会

とき 2008年2月11日(月)10:00～12:00

ところ 札幌市「共済ホール」(札幌市中央区北4条西1丁目)

主催 靖国神社国営化阻止道民連絡会議

参加費 無料

講演

「改憲潮流は人々に何をもたらすか」

斎藤 貴男さん(ジャーナリスト)

特別報告

「砂川政教分離訴訟について」

石田 明義さん(弁護士)

斎藤 貴男さんのプロフィール

ジャーナリスト。1958年生まれ。

早稲田大学卒業 元日本工業新聞記者、週刊文春特派記者

著書として「機会不平等」(文春文庫)、「希望のない仕事論」(平凡社新書)、「ルポ改憲潮流」(岩波新書)などがある。

2月11日は「建国記念の日」とされています。この日はかつての神話をもとに明治政府が制定し、侵略戦争美化の道具としてきた「紀元節」に当たります。かつての日本は「皇国史觀」のもとアジア・太平洋の人々に侵略と植民地支配の不当な犠牲を強いてきました。その2月11日を、1966年に当時の政府・自民党が各界の反対を押し切って「建国記念の日」と制定したものです。

今年の「2・11集会」も例年通り、靖国神社国営化阻止キリスト者グループ、北海道平和運動フォーラム、北海道高等学校教職員組合連合会、北海道教職員組合の4団体が事務局を担っている「靖国共闘会議」の主催で集会を開催します。

かつての誤った歴史を繰り返さないために、戦争賛美の日であったこの日を、平和発信の日へと大きく作り変えなければなりません。多くの宗教団体・民主団体・市民団体の皆さんも参加します。皆さんもどうぞお気軽にご参加ください。

連絡先：靖国神社国営化阻止道民連絡会議（事務局団体：北教組・高教組・靖国阻止キリスト者グループ・道平和運動フォーラム）

<札幌市中央区南3条西12丁目北海道教育会館内 Tel:011-561-3496>